

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	約5年間（2015年1月26日～2020年1月17日）
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	α50コース イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（α50クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	α100コース イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（α100クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	α50コース ①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の50%程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により50%から大きくかき離す場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	α100コース ①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の100%程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により100%から大きくかき離す場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

ダイワ・ブラジル・リアル債α （毎月分配型） -スーパー・ハイインカム- α50コース／α100コース

運用報告書（全体版）

第1期（決算日	2015年3月17日）
第2期（決算日	2015年4月17日）
第3期（決算日	2015年5月18日）
第4期（決算日	2015年6月17日）
第5期（決算日	2015年7月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）-スーパー・ハイインカム-α50コース／α100コース」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、第1期～第5期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3254>
<3255>

★α50コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算)		公 社 債 率 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年3月17日)	8,308	120	△15.7	8,014	△19.9	0.0	98.0	287
2 期末 (2015年4月17日)	8,640	120	5.4	8,716	8.8	1.2	99.5	290
3 期末 (2015年5月18日)	8,727	120	2.4	8,898	2.1	1.0	95.8	326
4 期末 (2015年6月17日)	8,649	120	0.5	8,907	0.1	0.0	99.3	317
5 期末 (2015年7月17日)	8,587	120	0.7	8,924	0.2	0.0	98.4	320

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

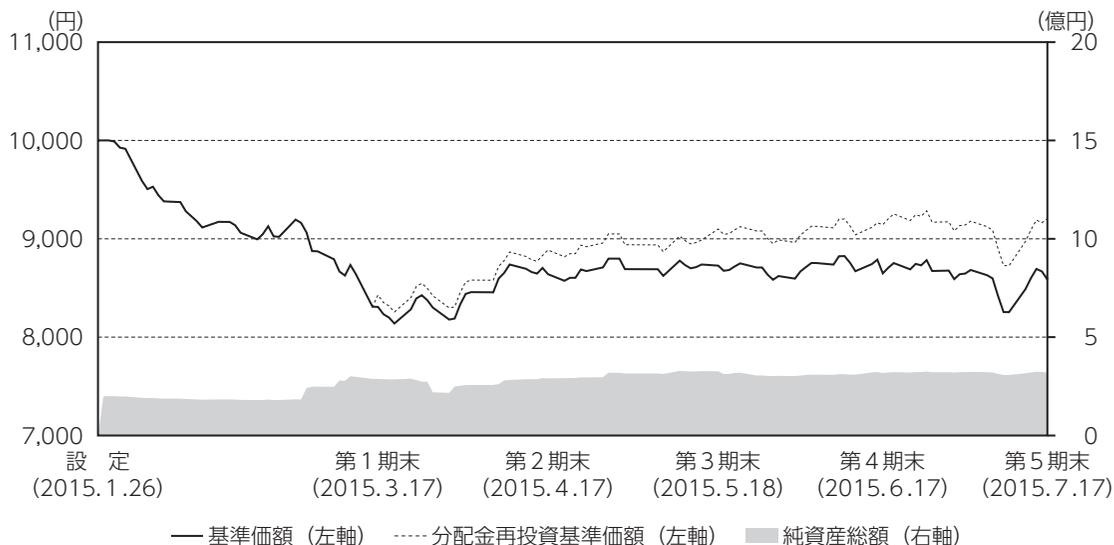
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第5期末：8,587円（既払分配金600円）

騰落率：△8.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入と通貨オプション取引によるプレミアム収入は基準価額の値上がりに寄与しましたが、債券価格の値下がりやブラジル・リアルが円に対して下落したことで、基準価額は値下がりました。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第1期	(設定) 2015年1月26日	円 10,000	% -	10,000	% -	% -	% -
	1月末	9,915	△ 0.9	9,954	△ 0.5	0.0	100.0
	2月末	9,021	△ 9.8	8,913	△10.9	0.0	100.1
	(期末) 2015年3月17日	8,428	△15.7	8,014	△19.9	0.0	98.0
第2期	(期首) 2015年3月17日	8,308	-	8,014	-	0.0	98.0
	3月末	8,189	△ 1.4	8,067	0.7	0.0	84.9
	(期末) 2015年4月17日	8,760	5.4	8,716	8.8	1.2	99.5
第3期	(期首) 2015年4月17日	8,640	-	8,716	-	1.2	99.5
	4月末	8,798	1.8	8,888	2.0	0.0	99.6
	(期末) 2015年5月18日	8,847	2.4	8,898	2.1	1.0	95.8
第4期	(期首) 2015年5月18日	8,727	-	8,898	-	1.0	95.8
	5月末	8,621	△ 1.2	8,791	△ 1.2	0.0	99.8
	(期末) 2015年6月17日	8,769	0.5	8,907	0.1	0.0	99.3
第5期	(期首) 2015年6月17日	8,649	-	8,907	-	0.0	99.3
	6月末	8,590	△ 0.7	8,804	△ 1.2	0.0	99.1
	(期末) 2015年7月17日	8,707	0.7	8,924	0.2	0.0	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比（第1期は設定比）。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、設定時より、財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから金利低下する局面がありましたが、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題や、財政再建法案が議会の反発を受けて、法案の成立が難航すると懸念されたことが金利上昇要因となりました。また、ブラジルの格下げ懸念の台頭やブラジル・レアルの下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなども、金利上昇圧力となりました。インフレ率の上昇に対処するために中央銀行が継続的な利上げを行なったことから、短期金利は長期金利に比べ上昇しました。

○為替相場

ブラジル・レアル相場は、設定時より、景気の低迷が嫌気されたほか、財政再建法案をめぐる政治的不透明感が高まったことや、ペトロブラスをめぐる汚職疑惑が広がったことで下落しました。外部要因では、日銀の金融緩和等を背景に円安が進展する局面もありましたが、米国の金融政策が正常化に向かう中でギリシャ債務問題や中国景気に対する懸念もあり、ブラジルをはじめとした新興国・資源国からの資金逃避の動きから、レアルは対円で下落となりました。

○為替ボラティリティ相場

レアルのインプライド・ボラティリティ^(※)は設定時より横ばいで推移したものの、汚職疑惑の拡大や財政再建法案をめぐる政治的不透明感の高まりにより一時的に上昇する局面がありました。また、米国の早期利上げ観測の台頭やギリシャ債務問題への懸念の高まりなど、投資家のリスク回避姿勢が高まる局面では、インプライド・ボラティリティは一時的に上昇しました。

(※) オプションが織込んでいるレアルの対円為替レートの予想変動率で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）」といいます。）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

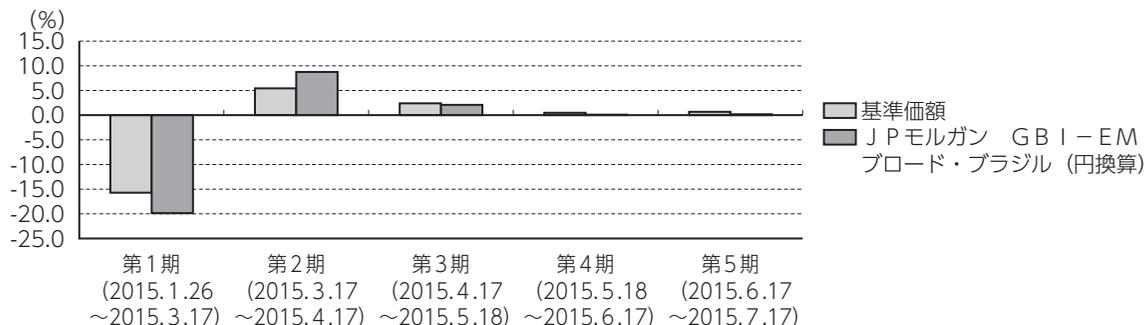
債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。通貨カバー戦略は、カバー率を50%程度とすることで、オプションプレミアムの獲得と為替差益の一部の享受をめざしました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第1期～第5期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ120円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2015年1月26日 ～2015年3月17日	2015年3月18日 ～2015年4月17日	2015年4月18日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月17日	2015年6月18日 ～2015年7月17日
当期分配金（税込み） (円)	120	120	120	120	120
対基準価額比率 (%)	1.42	1.37	1.36	1.37	1.38
当期の収益 (円)	85	120	120	120	120
当期の収益以外 (円)	34	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	70	135	226	263	331

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	85.69円	167.50円	204.36円	151.28円	187.35円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	104.99	88.13	99.53	113.06	115.56
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	42.64	119.45	148.28
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	190.69	255.63	346.54	383.79	451.20
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	70.69	135.63	226.54	263.79	331.20

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。通貨カバードコール戦略は、カバー率を50%程度とすることで、オプションプレミアムの獲得と為替差益の一部の享受をめざします。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 1 期～第 5 期		項 目 の 概 要
	(2015.1.26～2015.7.17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	50円	0.577%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,728円です。
（投信会社）	(18)	(0.205)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(31)	(0.359)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	7	0.077	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
（投資信託受益証券）	(7)	(0.077)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.658	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

決算期	第1期～第5期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	5,163.948	464,912	1,309.872	107,454

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
 (注2) 金額は受渡し代金。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

決算期	第1期～第5期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	9,333	9,350	9,283	9,300

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

第1期				第5期			
買付				売付			
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	千口 4,788.874	千円 433,918	円 90	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	千口 1,309.872	千円 107,454	円 82

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第1期～第5期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

区分	第1期				第5期		
	買付額等		B/A	売付額等		D/C	
	A	うち利害関係人との取引状況B		C	うち利害関係人との取引状況D		
公社債	百万円 15,999	百万円 1,000	% 6.3	百万円 -	百万円 -	% -	
コール・ローン	532,462	-	-	-	-	-	

(注) 平均保有割合0.0%
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第1期～第5期）中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

設定時保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第5期末保有額	取引の理由
百万円 200	百万円 -	百万円 200	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 5 期 末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50	3,854.076	314,951	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月17日現在

項目	第 5 期 末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 314,951	% 96.9
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	50	0.0
コール・ローン等、その他	9,957	3.1
投資信託財産総額	324,959	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第 5 期 末	
	口数	評価額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 49	千円 50

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年3月17日)、(2015年4月17日)、(2015年5月18日)、(2015年6月17日)、(2015年7月17日)現在

項目	第 1 期 末	第 2 期 末	第 3 期 末	第 4 期 末	第 5 期 末
(A) 資産	306,208,111円	294,640,606円	344,470,428円	322,230,774円	328,651,782円
コール・ローン等	24,060,376	1,446,899	362,662	6,781,230	6,265,312
投資信託受益証券(評価額)	282,097,735	288,843,707	313,109,766	315,399,544	314,951,265
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	50,000	4,350,000	5,050,001	50,000	50,005
未収入金	－	－	25,947,999	－	7,385,200
(B) 負債	18,272,663	4,311,788	17,791,219	4,722,624	8,495,255
未払金	－	－	12,974,000	－	3,692,600
未払収益分配金	4,159,147	4,032,357	4,491,767	4,405,033	4,473,985
未払解約金	13,763,800	－	－	－	－
未払信託報酬	347,419	275,315	319,223	309,313	318,283
その他未払費用	2,297	4,116	6,229	8,278	10,387
(C) 純資産総額(A－B)	287,935,448	290,328,818	326,679,209	317,508,150	320,156,527
元本	346,595,648	336,029,829	374,313,978	367,086,111	372,832,136
次期繰越損益金	△ 58,660,200	△ 45,701,011	△ 47,634,769	△ 49,577,961	△ 52,675,609
(D) 受益権総口数	346,595,648口	336,029,829口	374,313,978口	367,086,111口	372,832,136口
1万口当り基準価額(C/D)	8,308円	8,640円	8,727円	8,649円	8,587円

* 設定時における元本額は200,000,000円、当作成期間（第1期～第5期）中における追加設定元本額は402,515,342円、同解約元本額は229,683,206円です。

* 第5期末の計算口数当りの純資産額は8,587円です。

* 第5期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は52,675,609円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

■損益の状況

第1期 自2015年1月26日 至2015年3月17日 第4期 自2015年5月19日 至2015年6月17日
 第2期 自2015年3月18日 至2015年4月17日 第5期 自2015年6月18日 至2015年7月17日
 第3期 自2015年4月18日 至2015年5月18日

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(A) 配当等収益	3,319,973円	5,735,504円	7,970,843円	5,864,660円	7,305,646円
受取配当金	3,319,213	5,734,975	7,970,733	5,864,551	7,305,593
受取利息	760	529	110	109	53
(B) 有価証券売買損益	△35,423,281	9,121,776	△ 20,674	△ 3,925,303	△ 4,868,942
売買益	7,566,834	9,630,798	5,017	7,599	1,842
売買損	△42,990,115	△ 509,022	△ 25,691	△ 3,932,902	△ 4,870,784
(C) 信託報酬等	△ 349,716	△ 277,134	△ 321,336	△ 311,362	△ 320,392
(D) 当期損益金(A + B + C)	△32,453,024	14,580,146	7,628,833	1,627,995	2,116,312
(E) 前期繰越損益金	－	△23,286,616	△12,738,827	△ 8,856,564	△11,623,939
(F) 追加信託差損益金	△22,048,029	△32,962,184	△38,033,008	△37,944,359	△38,693,997
(配当等相当額)	(3,639,149)	(2,961,604)	(3,725,838)	(4,150,374)	(4,308,451)
(売買損益相当額)	(△25,687,178)	(△35,923,788)	(△41,758,846)	(△42,094,733)	(△43,002,448)
(G) 合計(D + E + F)	△54,501,053	△41,668,654	△43,143,002	△45,172,928	△48,201,624
(H) 収益分配金	△ 4,159,147	△ 4,032,357	△ 4,491,767	△ 4,405,033	△ 4,473,985
次期繰越損益金(G + H)	△58,660,200	△45,701,011	△47,634,769	△49,577,961	△52,675,609
追加信託差損益金	△23,236,919	△32,962,184	△38,033,008	△37,944,359	△38,693,997
(配当等相当額)	(2,450,259)	(2,961,604)	(3,725,838)	(4,150,374)	(4,308,451)
(売買損益相当額)	(△25,687,178)	(△35,923,788)	(△41,758,846)	(△42,094,733)	(△43,002,448)
分配準備積立金	－	1,596,218	4,754,013	5,533,317	8,039,990
繰越損益金	△35,423,281	△14,335,045	△14,355,774	△17,166,919	△22,021,602

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,970,257円	5,628,575円	7,649,562円	5,553,298円	6,985,254円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,639,149	2,961,604	3,725,838	4,150,374	4,308,451
(d) 分配準備積立金	0	0	1,596,218	4,385,052	5,528,721
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	6,609,406	8,590,179	12,971,618	14,088,724	16,822,426
(f) 分配金	4,159,147	4,032,357	4,491,767	4,405,033	4,473,985
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,450,259	4,557,822	8,479,851	9,683,691	12,348,441
(h) 受益権総口数	346,595,648口	336,029,829口	374,313,978口	367,086,111口	372,832,136口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ					
	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
1 万 口 当 り 分 配 金	120円	120円	120円	120円	120円
(単 価)	(8,308円)	(8,640円)	(8,727円)	(8,649円)	(8,587円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★α100コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算)		公 社 債 率 組 入 比 率	投 資 信 託 券 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期 末 (2 0 1 5 年 3 月 1 7 日)	8,486	180	△13.3	8,014	△19.9	0.0	97.9	503
2 期 末 (2 0 1 5 年 4 月 1 7 日)	8,764	180	5.4	8,716	8.8	1.6	95.2	564
3 期 末 (2 0 1 5 年 5 月 1 8 日)	8,802	180	2.5	8,898	2.1	1.4	99.8	685
4 期 末 (2 0 1 5 年 6 月 1 7 日)	8,748	180	1.4	8,907	0.1	0.0	98.8	760
5 期 末 (2 0 1 5 年 7 月 1 7 日)	8,652	180	1.0	8,924	0.2	0.0	98.1	830

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) を も と に 円 換 算 し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (ブ ラ ジ ル ・ レ ア ル ベ ー ス) は、信 頼 性 が 高 い と み な す 情 報 に 基 づ き 作 成 し て い ま す が、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

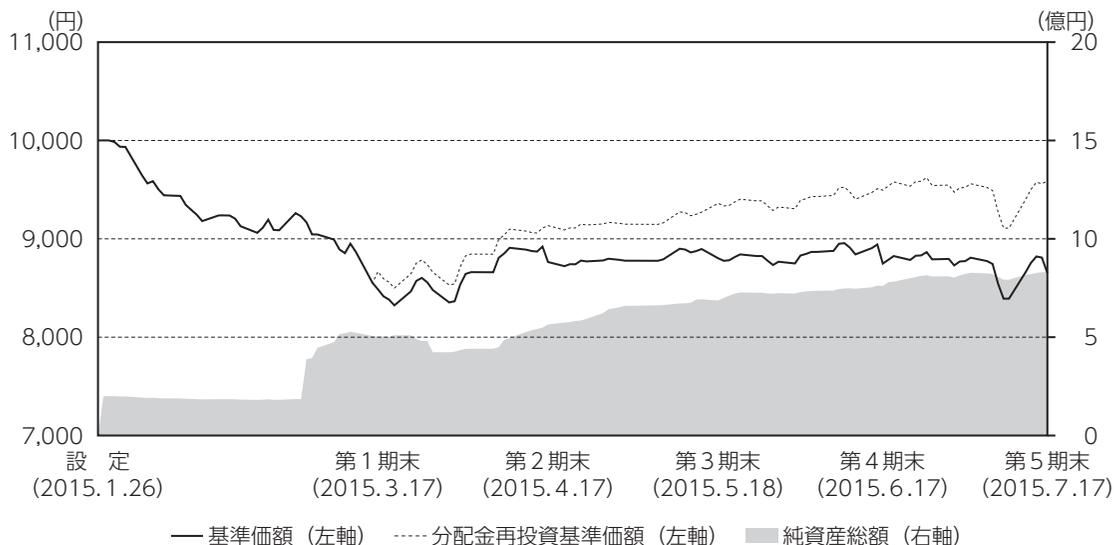
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第5期末：8,652円（既払分配金900円）

騰落率：△4.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入と通貨オプション取引によるプレミアム収入は基準価額の値上がりに寄与しましたが、債券価格の値下がりやブラジル・リアルが円に対して下落したことで、基準価額は値下がりました。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル (円 換 算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第 1 期	(設定) 2015年1月26日	円 10,000	% -	10,000	% -	% -	% -
	1月末	9,934	△ 0.7	9,954	△ 0.5	0.0	100.0
	2月末	9,087	△ 9.1	8,913	△10.9	0.0	100.1
	(期末) 2015年3月17日	8,666	△13.3	8,014	△19.9	0.0	97.9
第 2 期	(期首) 2015年3月17日	8,486	-	8,014	-	0.0	97.9
	3月末	8,365	△ 1.4	8,067	0.7	0.0	98.2
	(期末) 2015年4月17日	8,944	5.4	8,716	8.8	1.6	95.2
第 3 期	(期首) 2015年4月17日	8,764	-	8,716	-	1.6	95.2
	4月末	8,786	0.3	8,888	2.0	0.0	97.9
	(期末) 2015年5月18日	8,982	2.5	8,898	2.1	1.4	99.8
第 4 期	(期首) 2015年5月18日	8,802	-	8,898	-	1.4	99.8
	5月末	8,767	△ 0.4	8,791	△ 1.2	0.0	99.8
	(期末) 2015年6月17日	8,928	1.4	8,907	0.1	0.0	98.8
第 5 期	(期首) 2015年6月17日	8,748	-	8,907	-	0.0	98.8
	6月末	8,729	△ 0.2	8,804	△ 1.2	0.0	99.8
	(期末) 2015年7月17日	8,832	1.0	8,924	0.2	0.0	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比（第1期は設定比）。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、設定時より、財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから金利低下する局面がありましたが、大手石油会社ペトロbrasの汚職問題や、財政再建法案が議会の反発を受けて、法案の成立が難航すると懸念されたことが金利上昇要因となりました。また、ブラジルの格下げ懸念の台頭やブラジル・レアルの下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなども、金利上昇圧力となりました。インフレ率の上昇に対処するために中央銀行が継続的な利上げを行なったことから、短期金利は長期金利に比べ上昇しました。

○為替相場

ブラジル・レアル相場は、設定時より、景気の低迷が嫌気されたほか、財政再建法案をめぐる政治的不透明感が高まったことや、ペトロbrasをめぐる汚職疑惑が広がったことで下落しました。外部要因では、日銀の金融緩和等を背景に円安が進展する局面もありましたが、米国の金融政策が正常化に向かう中でギリシャ債務問題や中国景気に対する懸念もあり、ブラジルをはじめとした新興国・資源国からの資金逃避の動きから、レアルは対円で下落となりました。

○為替ボラティリティ相場

レアルのインプライド・ボラティリティ^(*)は設定時より横ばいで推移したものの、汚職疑惑の拡大や財政再建法案をめぐる政治的不透明感の高まりにより一時的に上昇する局面がありました。また、米国の早期利上げ観測の台頭やギリシャ債務問題への懸念の高まりなど、投資家のリスク回避姿勢が高まる局面では、インプライド・ボラティリティは一時的に上昇しました。

(*) オプションが織込んでいるレアルの対円為替レートの予想変動率で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）」といいます。）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）

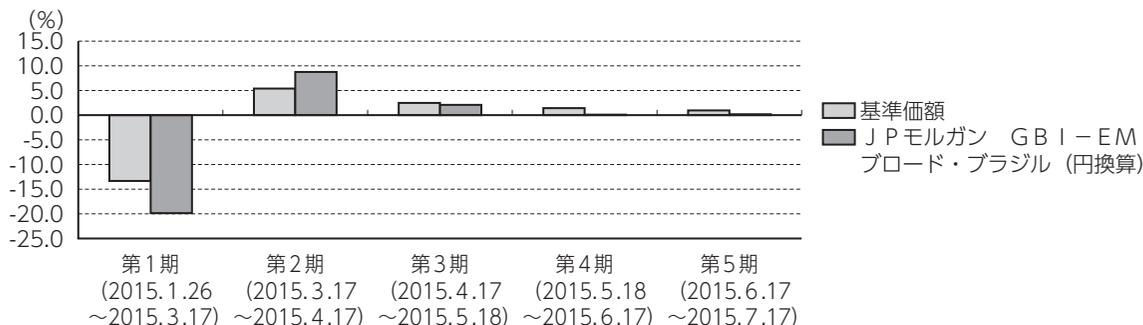
債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。通貨カバードコール戦略は、カバー率を100%程度とすることで、高い水準のオプションプレミアムの獲得をめざしました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第1期～第5期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ180円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2015年1月26日 ～2015年3月17日	2015年3月18日 ～2015年4月17日	2015年4月18日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月17日	2015年6月18日 ～2015年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	180	180	180	180	180
対基準価額比率（％）	2.08	2.01	2.00	2.02	2.04
当期の収益（円）	82	180	180	180	180
当期の収益以外（円）	97	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	92	175	292	339	423

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	82.34円	208.21円	287.50円	216.10円	252.91円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	190.29	147.21	161.75	185.92	214.43
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	23.32	117.29	136.01
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	272.64	355.43	472.58	519.32	603.35
(f) 分配金	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	92.64	175.43	292.58	339.32	423.35

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・リアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。通貨カバー戦略は、カバー率を100%程度とすることで、高い水準のオプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 1 期～第 5 期		項 目 の 概 要
	(2015.1.26～2015.7.17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	51円	0.577%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,856円です。
（投信会社）	(18)	(0.205)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0.359)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.041	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
（投資信託受益証券）	(4)	(0.041)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0.621	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

決算期	第1期～第5期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	11,403.367	985,567	1,238.756	100,798

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
 (注2) 金額は受渡し代金。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

決算期	第1期～第5期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	26,502	26,550	26,452	26,500

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

第1期				第5期			
買付				売付			
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100 (ケイマン諸島)	10,323.564	897,951	86	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100 (ケイマン諸島)	1,238.756	100,798	81

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第1期～第5期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年1月26日から2015年7月17日まで)

区分	第1期～第5期					
	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
公社債	百万円 15,999	百万円 1,000	% 6.3	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	532,462	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第1期～第5期）中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

設定時保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第5期末保有額	取引の理由
百万円 200	百万円 -	百万円 200	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 5 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100	10,164.61	814,083	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月17日現在

項 目	第 5 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 814,083	% 96.0
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	50	0.0
コール・ローン等、その他	34,145	4.0
投資信託財産総額	848,279	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 5 期 末	
	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千□ 49	千円 50

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年3月17日)、(2015年4月17日)、(2015年5月18日)、(2015年6月17日)、(2015年7月17日)現在

項 目	第 1 期 末	第 2 期 末	第 3 期 末	第 4 期 末	第 5 期 末
(A) 資産	543,918,247円	576,519,689円	700,511,824円	776,717,449円	848,279,512円
コール・ローン等	51,425,519	27,856,397	1,341,947	25,685,124	34,145,826
投資信託受益証券(評価額)	492,442,728	537,113,291	684,119,876	750,982,325	814,083,681
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	50,000	11,550,001	15,050,001	50,000	50,005
(B) 負債	40,771,316	12,089,328	14,691,223	16,387,451	18,095,185
未払収益分配金	10,671,923	11,592,775	14,025,512	15,644,394	17,271,628
未払解約金	29,657,600	-	-	-	-
未払信託報酬	438,894	490,402	655,211	727,722	802,882
その他未払費用	2,899	6,151	10,500	15,335	20,675
(C) 純資産総額(A-B)	503,146,931	564,430,361	685,820,601	760,329,998	830,184,327
元本	592,884,654	644,043,101	779,195,161	869,133,053	959,534,937
次期繰越損益金	△ 89,737,723	△ 79,612,740	△ 93,374,560	△108,803,055	△129,350,610
(D) 受益権総口数	592,884,654□	644,043,101□	779,195,161□	869,133,053□	959,534,937□
1万口当り基準価額(C/D)	8,486円	8,764円	8,802円	8,748円	8,652円

* 設定時における元本額は200,000,000円、当作成期間（第1期～第5期）中における追加設定元本額は979,513,685円、同解約元本額は219,978,748円です。

* 第5期末の計算口数当りの純資産額は8,652円です。

* 第5期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は129,350,610円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－α100コース

■損益の状況

第1期 自2015年1月26日 至2015年3月17日 第4期 自2015年5月19日 至2015年6月17日
 第2期 自2015年3月18日 至2015年4月17日 第5期 自2015年6月18日 至2015年7月17日
 第3期 自2015年4月18日 至2015年5月18日

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(A) 配当等収益	5,324,010円	13,681,805円	23,061,991円	19,515,022円	25,076,079円
受取配当金	5,322,932	13,680,997	23,061,468	19,514,761	25,075,728
受取利息	1,078	808	523	261	351
(B) 有価証券売買損益	△46,987,202	11,168,627	△ 5,814,883	△ 8,252,313	△ 16,594,730
売買益	3,580,151	11,794,048	－	－	616,660
売買損	△50,567,353	△ 625,421	△ 5,814,883	△ 8,252,313	△ 17,211,390
(C) 信託報酬等	△ 441,793	△ 493,654	△ 659,560	△ 732,557	△ 808,222
(D) 当期繰越損益金(A + B + C)	△42,104,985	24,356,778	16,587,548	10,530,152	7,673,127
(E) 前期繰越損益金	－	△35,771,030	△23,007,027	△ 20,444,991	△ 25,019,723
(F) 追加信託差損益金	△36,960,815	△56,605,713	△72,929,569	△ 83,243,822	△ 94,732,386
(配当等相当額)	(11,282,481)	(9,481,116)	(12,603,597)	(16,159,279)	(20,575,485)
(売買損益相当額)	(△48,243,296)	(△66,086,829)	(△85,533,166)	(△ 99,403,101)	(△115,307,871)
(G) 合計(D + E + F)	△79,065,800	△68,019,965	△79,349,048	△ 93,158,661	△112,078,982
(H) 収益分配金	△10,671,923	△11,592,775	△14,025,512	△ 15,644,394	△ 17,271,628
次期繰越損益金(G + H)	△89,737,723	△79,612,740	△93,374,560	△108,803,055	△129,350,610
追加信託差損益金	△42,750,521	△56,605,713	△72,929,569	△ 83,243,822	△ 94,732,386
(配当等相当額)	(5,492,775)	(9,481,116)	(12,603,597)	(16,159,279)	(20,575,485)
(売買損益相当額)	(△48,243,296)	(△66,086,829)	(△85,533,166)	(△ 99,403,101)	(△115,307,871)
分配準備積立金	－	1,817,344	10,194,428	13,332,499	20,047,303
繰越損益金	△46,987,202	△24,824,371	△30,639,419	△ 38,891,732	△ 54,665,527

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,882,217円	13,410,119円	22,402,596円	18,782,465円	24,267,857円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11,282,481	9,481,116	12,603,597	16,159,279	20,575,485
(d) 分配準備積立金	0	0	1,817,344	10,194,428	13,051,074
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	16,164,698	22,891,235	36,823,537	45,136,172	57,894,416
(f) 分配金	10,671,923	11,592,775	14,025,512	15,644,394	17,271,628
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	5,492,775	11,298,460	22,798,025	29,491,778	40,622,788
(h) 受益権総口数	592,884,654口	644,043,101口	779,195,161口	869,133,053口	959,534,937口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ					
	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
1 万 口 当 り 分 配 金	180円	180円	180円	180円	180円
(単 価)	(8,486円)	(8,764円)	(8,802円)	(8,748円)	(8,652円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・
ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド
（ α 50クラス／ α 100クラス）

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債 α （毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－）の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ α 50クラス／ α 100クラス）」は、2015年5月29日に第1期決算を行なっておりますが、2015年7月17日現在では決算情報を入手できておりません。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－α50コース/α100コース）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第5期の決算日（2015年7月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を24ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

（2015年1月26日から2015年7月17日まで）

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
491	国庫短期証券 2015/5/14	1,999,998			
541	国庫短期証券 2015/9/28	1,499,998			
532	国庫短期証券 2015/8/17	1,499,995			
514	国庫短期証券 2015/5/25	1,499,968			
521	国庫短期証券 2015/6/29	1,499,925			
536	国庫短期証券 2015/9/7	1,000,000			
534	国庫短期証券 2015/8/24	999,997			
515	国庫短期証券 2015/6/1	999,995			
516	国庫短期証券 2015/6/8	999,995			
503	国庫短期証券 2015/4/6	999,990			

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年7月17日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（10,077,367千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年7月17日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 6,000,000	千円 5,999,990	% 59.4	% -	% -	% -	% 59.4	

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年7月17日現在							
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	532	国庫短期証券	%	千円 1,500,000	千円 1,499,998	2015/08/17	
	534	国庫短期証券	-	1,000,000	999,998	2015/08/24	
	535	国庫短期証券	-	1,000,000	999,995	2015/08/31	
	536	国庫短期証券	-	1,000,000	1,000,000	2015/09/07	
	541	国庫短期証券	-	1,500,000	1,499,998	2015/09/28	
合 計	銘 柄 数 金 額	5銘柄		6,000,000	5,999,990		

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第3期（決算日 2014年12月9日）

（計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

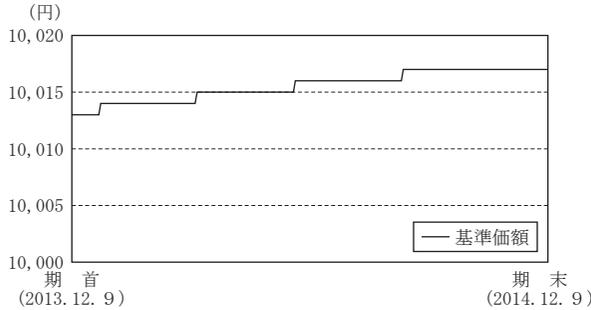
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率	
		%	%	%	%
(期首) 2013年12月9日	10,013	—	—	64.6	64.6
12月末	10,013	0.0	0.0	66.4	66.4
2014年1月末	10,014	0.0	0.0	76.5	76.5
2月末	10,014	0.0	0.0	77.7	77.7
3月末	10,015	0.0	0.0	70.6	70.6
4月末	10,015	0.0	0.0	72.5	72.5
5月末	10,015	0.0	0.0	77.2	77.2
6月末	10,016	0.0	0.0	66.1	66.1
7月末	10,016	0.0	0.0	76.4	76.4
8月末	10,017	0.0	0.0	80.2	80.2
9月末	10,017	0.0	0.0	66.3	66.3
10月末	10,017	0.0	0.0	66.6	66.6
11月末	10,017	0.0	0.0	85.2	85.2
(期末) 2014年12月9日	10,017	0.0	0.0	53.3	53.3

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

期首：10,013円 期末：10,017円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国 債 証 券	千円	千円
		21,368,540	(19,920,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘	柄	金 額	金 額
		千円	千円
496	国庫短期証券 2015/3/9	2,999,997	
486	国庫短期証券 2014/12/3	1,999,974	
476	国庫短期証券 2014/12/1	1,799,916	
490	国庫短期証券 2015/2/9	999,950	
492	国庫短期証券 2015/2/16	999,945	
493	国庫短期証券 2015/2/23	799,984	
473	国庫短期証券 2014/11/17	799,952	
475	国庫短期証券 2014/11/25	799,936	
454	国庫短期証券 2014/8/25	799,922	
434	国庫短期証券 2014/6/2	799,920	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

区 分	当 期			末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	組入比率
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	6,340,000	6,339,912	53.3	—	—	53.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	当 期			末		
	銘柄	年利率	額面金額	評 価 額	債還年月日	組入比率
		%	千円	千円		%
国債証券	479 国庫短期証券	—	340,000	339,999	2014/12/15	—
	481 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/22	—
	490 国庫短期証券	—	1,000,000	999,965	2015/02/09	—
	492 国庫短期証券	—	1,000,000	999,961	2015/02/16	—
	493 国庫短期証券	—	800,000	799,988	2015/02/23	—
	496 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,997	2015/03/09	—
合計	銘柄数 金額	6銘柄	6,340,000	6,339,912		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	6,339,912	53.3	6,339,912	53.3
コーポレートローン等、その他	5,565,721	46.7	5,565,721	46.7
投資信託財産総額	11,905,634	100.0	11,905,634	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資 産 総 額	11,905,634,225円	11,905,634,225円
(B) 公 社 債 (評価額)	6,339,912,396	6,339,912,396
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	11,905,634,225	11,905,634,225
(D) 受 益 権 総 口 数	11,884,993,463口	11,884,993,463口
1万口当り基準価額(C/D)	10,017円	10,017円

*期首における元本額は7,555,798,942円、当期中における追加設定元本額は7,270,665,044円、同解約元本額は2,941,470,523円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ (為替ヘッジあり) 999円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ48,492,145円、ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型) 2,996,106円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり (毎月分配型) 29,988,005円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし (毎月分配型) 1,999,201円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース (毎月分配型) 1,002,195円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース (毎月分配型) 3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス -インカムチェンジ (積立型) -7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド (限定追加型) -シフト11-4,694,526,114円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド (限定追加型) -シフト12-7,087,950,486円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,880,333円
(B) 受 取 利 息	2,880,333
(C) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,353
(D) 前 期 繰 越 損 益	1,353
(E) 解 約 差 損 益	△ 4,529,477
(F) 追 加 信 託 差 損 益	12,338,956
(G) 合 計 (C+D+E+F)	20,640,762
次 期 繰 越 損 益 (G)	20,640,762

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変わりました。ことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託(当ファンドは該当します。)には適用されなくなりました。